



2009年7月1日掲載

親子小田原紀行／スーパーはこね編

今月の「つれづれWEB」は、「親子小田原紀行」と題してお送りしていこう。ただし、今回の紀行は写真がない。

というのも、私と我が息子2人だけなので、写真撮っている余裕がなかったのだ。その点だけ、ご理解いただきたい。

さて、今回は急遽決まった日帰り旅行である。元々嫁さんが1泊2日の旅行を計画し、その間の子守をどうするかということだったのだ。

嫁さんの旅行1日目は、我が息子を保育園に預けることは決めていたが、問題は2日目。当初は葛西の地下鉄博物館に連れて行こうと画策していた。

しかし、本人に聞いてみると「白いロマンスカーに乗りたい」とのこと。白いロマンスカー……小田急50000形「VSE」のここのようだ。

そこで、せっかくなのでVSEに乗せることにした。行き先は、とりあえず小田原である。

出発当日の朝、ロマンスカーの予約状況をネットで確認。すると、直近の「白いロマンスカー」VSEは新宿10:00発の「スーパーはこね13号」、その次は新宿11:10発の「はこね17号」どちらにも空席があることが判明した。

ただ、展望席に限ると、「スーパーはこね13号」には空席はなく、「はこね17号」には空席が。幼子を抱えて1時間以上待てるのか、判断が分かれるところである。

9:20に新宿に着き、早速ロマンスカーを予約。さすがに我が息子は出発まで2時間は待てないと判断、展望席をあきらめ「スーパーはこね13号」に乗ることにした。

小田急ロマンスカーは全席指定で、大人は運賃850円＋特急料金870円の合計1,720円。幼児はロマンスカーに乗らないなら運賃も特急料金もいらぬが、座席指定がゆえ子供料金が必要となる。

つまり、運賃430円＋特急料金440円の合計870円が必要。私と我が息子の2人で、新宿－小田原は2,590円となるのだ。

切符を購入し、時間まで駅構内の喫茶店で時間つぶし。その後、1本前に当たる30000形「EXE」

の「さがみ63号」で我が息子を記念撮影する。

いよいよVSEの「スーパーはこね13号」が入線。もちろん、EXEに続いてVSEをバックに記念撮影することは欠かせない。

そして、いよいよ乗車である。私自身もロマンスカーは十数年ぶりだし、我が息子も興奮気味なのだ。

席に座り、座席にあったパンフレットに目を通す。すると、我が息子の目の色が変わった。

「これ欲しい！」と指さしたのは、60000形「MSE」をかたどったお弁当。VSEもあるのだが、こっちは私の友人から弁当箱だけもらったので、本人は一通りそろえたらしい。

車内でも撮影し、定刻通り新宿を発車。ほどなく、車内販売がやってきた。

早速、MSEの弁当を購入する。VSEの車内販売はワゴンではなく、座席まで商品を持ってきてくれるシートサービスなので、あとで弁当がやってくるのだ。

しばらくすると、待望のMSE弁当が到着。我が息子は、中を開けてご満悦のようだ。

ただ、昼前なのであまりおなかですいていない様子。とりあえず、MSE弁当を手にしたこと自体に満足しているようだった。

ところで、小田急は現在複々線化が進行中。私もかつては小田急沿線住民だったが、そのころと比べると沿線の風景もずいぶん変わった。

至る所に高層マンションができ、記憶と現在のギャップに戸惑い気味。7年もたてば、ずいぶんと変化があるものである。

梅雨時ということもあり、大山の山頂も富士山も雲に隠れて見えずじまい。あまり期待していなかったとはいえ、山々が見えないのは少し寂しい。

1時間10分、ノンストップで小田原に到着。今まで乗っていたVSEを見送り、改札へ向かう。

小田原までは来たものの、どこへ行くかの計画もない。さあ、どうしよう？

この続きは [こちら](#) からどうぞ。

[\[トップページ\]](#)



2009年7月11日掲載

親子小田原紀行／小田原城編

今回は、私と我が息子の「親子小田原紀行」の2回目。前回の模様は[こちら](#)をご覧ください。

我が息子の「白いロマンスカーに乗りたい！」の一言で小田原まで来てしまったが、問題はこの先。小田原で何をしようか、全く考えていなかったのだ。

小田原駅の改札を出て、屋根が高いコンコースを歩く。小田原駅自体も十数年ぶりだが、こんなコンコースはなかった。

我が息子は、改札前につるされていた巨大な小田原提灯を発見。あまりの大きさに目を丸くしていたのである。

コンコースに、駅周辺の地図を発見。それを見て、「そうだ、小田原城だ！」と思い出す。

小田原は城下町なのである。駅からでもそう遠くないので、歩いていくことにした。

小田原駅東口ロータリーから右手を見ると、小田原城の天守閣が見える。我が息子に「あそこに行ってみる？」と聞くと、「行きたい」との返事だった。

線路沿いを子供の足で10分ほどで、小田原城址公園に到着。我が息子は、公園内では水を得た魚のように走り回っていた。

公園内にはニホンザルとゾウが飼われており、プチ動物園といった様相。ただ、飼われていたのはこの2種類だけだったようだ。

早速、天守閣の入場券を購入。大人は400円だが、幼児は無料である。

そして、天守閣に上る。お城といえば階段だらけだが、我が息子は一目散に最上階へ向かう。

最上階では、相模湾を一望。梅雨時でそれほど遠くは見れなかったが、海風が通り抜け、日差しがあっても涼しい。

我が息子は、最上階をグルグル回って楽しんでいる。でも、そろそろお昼なので天守閣を降りる。

天守閣前の広場で、ロマンスカー乗車時に購入したMSE弁当を広げる。ただ、弁当はこれ1個きりなのだ。

1つの弁当を、私と我が息子で分け合うことに。

お食事処はあるのだが、さすがに弁当は売って
なかった。

中途半端な腹ごしらえで、小田原駅に戻る。途
中、小田原といえば超有名なかまぼこ店に寄っ
てみる。

我が息子は、いろいろなかまぼこを味見しま
くり。その味見の成果として、ママ用と自分
用の土産を決めたのだ。

私も試食したが、どれも実に美味。さす
がに、超有名なかまぼこ店だけのことはあ
る。

さあ、今度はどうやって東京へ戻ろうかと
考える。以後は[こちら](#)へ続く。

[\[トップページ\]](#)



2009年7月21日掲載

親子小田原紀行／こだま編

「親子小田原紀行」と題してお送りしている今月の「つれづれWEB」だが、今回は最終回。[1回目](#)、[2回目](#)はそれぞれからどうぞ。

まだお昼だが、帰りのことを思案する。小田原だとロマンスカーでの往復も考えたが、帰りはJRにすることにした。

JRだと、選択肢は2つ。新幹線か、特急「踊り子」である。

我が息子は「『踊り子』がいい」と言っていたが、平日なので本数も少なく却下。ほぼ30分に1本と、コンスタントに本数がある新幹線に乗ることにした。

しかも、平日昼間なので自由席でも十分座れると判断。直近の新幹線に乗ることにしたのだ。

でもその前に、新幹線車内で食べる食料を調達。2人でもつまめるシューマイにした。

さて、直近の新幹線は13:11発の「こだま646号」。発車5分前だったので、大急ぎで切符を購入した。

自由席なので、我が息子は同伴扱いで無料。大人1人分の乗車券・特急券だけで、幼児1人も乗ることができるのだ。

「こだま646号」が到着し、記念撮影。そのうち、車内に入る。

案の定、座席には余裕があった。空いている席に座り、15個入りのシューマイを広げる。

さすがに日本を代表する「シューマイ」だけあって、さめてもおいしい。温かければなおおいしいのだが、それは贅沢だろう。

新横浜に近づいたとき、我が息子が「うんち」の訴え出。トイレに連れて行き、済ませる。

行きの「白いロマンスカー」VSEではトイレに行かなかったのが、ロマンスカーにはトイレがないと思っているらしい。特急にはだいたいあるんだけどね。

「こだま」とはいえ、新幹線は速い。わずか36分で東京に到着した。

13:47に到着すると、ここでも記念撮影。今回の旅では、乗った列車をバックに一通り写真を撮

ったことになる。

なお、今回写真がないのは、我が息子しか撮影していないからである。親子2人だけだと、風景写真にまで気が回らないのだ。

15:00には自宅に到着。我が息子は、そこから3時間も昼寝をしていた。

我が息子は、今回の旅行がずいぶんお気に入りだった様子。家に帰っても、次回の旅行に備えて荷造りをしていたのだ。

ただ、「また白いロマンスカーの新幹線に乗りたい」と言っていた。流線型の列車は、みんな「新幹線」と思っているらしい。

さて、次はいつになるだろう？ 荷造りしたお菓子が腐る前に……。

[\[トップページ\]](#)